

経営理念

「明日をひらく」

～自らの成長でお客さまや地域の発展を実現する～

経営姿勢

- 人を大切にします
- この街と歩みます
- 暮らしを豊かにします



地域で最も信頼されなくてはならない金融機関を
めざしてまいります

Contents

- | | | | |
|--------------------------|----|---------------------------|----|
| ●ごあいさつ | 1 | ●コンプライアンス態勢 | 20 |
| ●2023年度 事業運営方針 | 3 | (法令等遵守方針、経営者保証に関する取組方針ほか) | |
| ●事業性評価に基づく伴走支援を強化する | 5 | ●トピックス(サステナビリティに関する取り組み) | 26 |
| ●暮らしに関わる課題解決を強化する | 9 | ●総代会等に関する情報開示 | 27 |
| ●地域活性化の中心となり「つなぐ」活動を徹底する | 11 | ●役員・組織図 | 29 |
| ●人づくりの追求・組織づくりの追求 | 14 | ●主な事業の内容・沿革 | 30 |
| ●2023年度 業績ハイライト | 16 | ●営業地区・店舗・ATMコーナー | 31 |
| ●直近単体財務諸表 | 17 | ●おかげさまで110周年 | 33 |
| ●リスク管理態勢 | 19 | | |

旭川しんきんの概要

(2024(令和6)年3月末現在)

名 称	旭川信用金庫 (旭川市指定金融機関)
本店所在地	北海道旭川市4条通8丁目
創 立	1914(大正3)年4月11日
出 資 金	21億55百万円
会 員 数	5万453人
預 金	1兆28億円
貸 出 金	3,513億円
店 舗 数	40店
常勤役員数	378人(うち、常勤役員9人)

ごあいさつ

日頃より格別のお引き立てを賜り厚くお礼申しあげます。

わが国経済は、コロナ禍からの脱却により社会経済活動の正常化が進み、また、日経平均株価の史上最高値更新などもあり、景気回復への期待感が高まっております。一方で海外に目を向けると、ウクライナや中東をはじめとする地政学リスクの増大や波乱が予想されるアメリカ大統領選挙など、不確実性の高い状況が続いており、わが国の景気を下押しするリスクも懸念されております。

当地域においても、コロナ禍後の業績回復がみられる一方で、人口減少・少子高齢化の進展に伴う慢性的な人手不足や後継者難が続くなど、課題が山積しております。

金融面では、2024年3月に日銀がマイナス金利政策を解除し、これから「金利ある世界」が本格化していくことから、金融政策の正常化を見据えたリスク・マネジメントの重要性が増しております。

当金庫の中期経営計画「ASKデザイン2022」の2年目にあたる2023年度は、「感謝を込めてありがとうを伝えよう」をスローガンに掲げ、風通しのよい職場の構築などに全力で取り組んでまいりました。

お客さまと地域に対しては、基本方針「課題解決型営業の追求」のもと、事業性評価に基づく伴走支援の強化、くらしに関わる課題解決の強化、地域活性化の中心となり「つなぐ」活動の徹底に全力で取り組んでまいりました。

その結果、一定の業績を収めることができ、会員ならびに取引先各位の温かいご支援・ご愛顧に、心から感謝申しあげます。

当地域経済は、経済活動の正常化で持ち直しつつありますが、人口減少・少子高齢化といった構造的な課題を抱えており、今後も厳しい状況が続くものと思われます。

そうしたなかで創立110周年を迎えた当金庫は、資金繰支援や本業支援、あるいは、再生支援のみならず、地域社会が抱える課題に全力で取り組んでまいります。

「お客さまの幸せを実現し、地元を元気にする」という変わらない使命を果たすため、私たちは自らの変革に取り組み、お客さまのお役に立つ組織、職員が「やりがい・働きがい」を実感できる組織を作り上げてまいります。お客さまに寄り添うことで共感し合い、信頼関係を深めて、地域で最も信頼される信用金庫をめざしてまいります。

今年度も当金庫の現況をご理解いただくため、ディスクロージャー誌を作成いたしましたので、ご高覧賜りますようお願い申しあげます。

2024(令和6)年6月

会 長 原田直彦

理事長 武田智明

2023年度 事業運営方針

経営理念

「明日をひらく」
～ 自らの成長でお客さまや地域の発展を実現する ～

中期経営計画

ASKデザイン2022
～ 従来にとらわれないイノベーションによりお客さまと地域の未来を描き実現する～
(計画期間 2022年4月～2025年3月)

めざす姿

お客さまの幸せを実現し、地元を元気にすることで、職員も幸せになり、
当金庫が存在価値を高め、「地域で最も信頼され、なくてはならない金融機関」になる

スローガン

感謝を含めてありがとうを伝えよう

重点戦略

1. リレバン戦略

リレーションシップの追求による持続可能なビジネスモデルの確立

2. DX戦略

デジタル化推進による新たな価値の創造と業務・働き方改革の実現

3. 店舗戦略

店舗のあり方再考によるお客さまと地域・職員・金庫の三方よしの実現

4. サステナビリティ戦略

SDGs・脱炭素化への取組強化による社会課題の解決

基本方針 1

課題解決型営業の追求

- 重点施策 -

- ① 事業性評価に基づく伴走支援を強化する
- ② 暮らしに関わる課題解決を強化する
- ③ 地域活性化の中心となり「つなぐ」活動を徹底する

基本方針 2

人づくりの追求

- 重点施策 -

- ① 共感し信頼関係を構築できる人財を育てる
- ② 金融プロとしての実力と高いモラルを有する人財を育てる
- ③ 「当事者意識」を持った自ら考え挑戦する人財を育てる

基本方針 3

組織づくりの追求

- 重点施策 -

- ① 「風通しのよい職場」を構築し改革を進める
- ② コンプライアンス態勢を強化しモラルを高める
- ③ 活動量と生産性を追求し適正収益を確保する

共有すべき価値観

お客さま本位

やりがいの実感

当たり前のことを当たり前に徹底して取り組む

当金庫の中期経営計画「ASKデザイン2022」の2年目にあたる2023年度は、「感謝を含めてありがとうを伝えよう」をスローガンに掲げ、風通しのよい職場の構築などに全力で取り組んでまいりました。

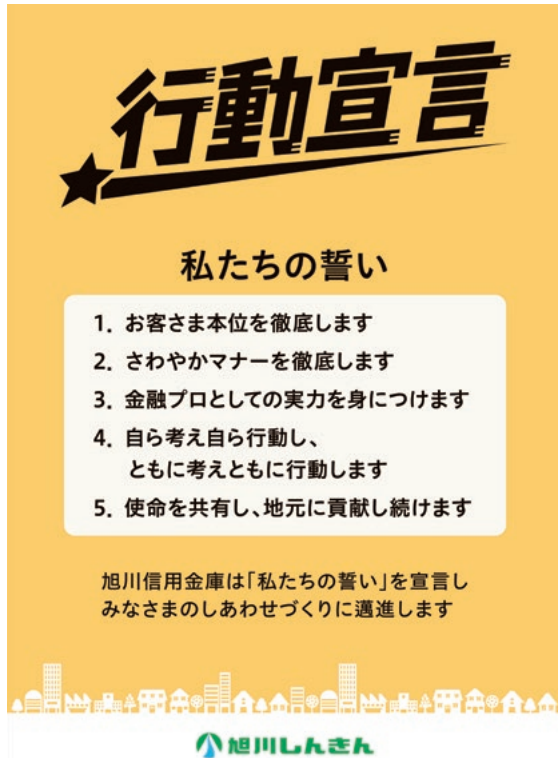
お客さまと地域に対しては、基本方針「課題解決型営業の追求」のもと、事業性評価に基づく伴走支援の強化、暮らしに関わる課題解決の強化、地域活性化の中心となり「つなぐ」活動の徹底に全力で取り組んでまいりました。

2024年度、創立110周年を迎えた当金庫は、資金繰支援や本業支援、あるいは、再生支援のみならず、地域社会が抱える課題に全力で取り組んでまいります。

ホスピタリティ運動

旭川信用金庫は、ホスピタリティ行動指針「ホスピタリティ・ウェイ」を定め、お客さま本位を組織風土にし、お客さまに喜ばれる仕事をおして、経営理念を実践していくホスピタリティ運動を推進しています。

当金庫は、「ホスピタリティ・ウェイ」に基づく「私たちの誓い」を宣言し、役職員一同、みなさまのしあわせづくりに邁進します。



課題解決型営業とSDGs宣言

当金庫は、国連で採択されたSDGsの趣旨に賛同し、率先して「事業」「くらし」「地域」の課題解決に取り組み、SDGs達成に貢献します。



旭川信用金庫の『サステナビリティ基本方針』

当金庫は、お客さまと地域に真摯に向き合い、持続可能な地域社会の実現に貢献するため、「サステナビリティ基本方針」を制定いたしました。本方針に掲げる「あるべき姿」と「なすべき戦略」に基づき、経営の重要課題としてサステナビリティを推進してまいります。

サステナビリティ基本方針

当金庫は、経営理念のもと、サステナビリティを経営の重要課題と捉え、「お客さまと地域」ならびに「役職員と当金庫」に対する課題にサステナビリティの価値観を実装・実践することで、持続可能な地域社会の実現に貢献します。

1. あるべき姿
「今日も明日も幸せであり続けられる」地域社会の実現に貢献する信用金庫
2. なすべき戦略
 - (1)「お客さまと地域」に対する課題
 - ① 環境や社会に寄与する取り組みへの支援強化
 - ② 健康で豊かなくらしを実現するための支援強化
 - ③ 環境保全や社会課題に関する発信・対話・連携の強化
 - (2)「役職員と当金庫」に対する課題
 - ① 環境や社会に貢献する活動の推進と人材の育成
 - ② 多様な人材が個性と能力を発揮できる職場の構築
 - ③ 環境や社会の変化に柔軟に対応できる経営基盤の確立

※1) サステナビリティとは、「世代を超えてすべての人々が幸せであり続けられる世界」を実現しようという考え方や行動のことをいいます。

※2) 当金庫のサステナビリティの取り組みは、26ページにも掲載しております。